

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年6月2日(2016.6.2)

【公開番号】特開2014-238354(P2014-238354A)

【公開日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-070

【出願番号】特願2013-121473(P2013-121473)

【国際特許分類】

G 01 P 3/487 (2006.01)

【F I】

G 01 P 3/487 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月11日(2016.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

検出素子を含むセンサ本体部、及び前記センサ本体部から引き出された複数のリード線を有するセンサと、

前記センサ本体部を収容する収容部を有する収容部材と、

前記センサ本体部に接すことなく前記収容部材の少なくとも一部を含んで成形されたモールド樹脂からなるモールド成形体とを備え、

前記収容部材には、前記センサ本体部を外部に臨ませる開口が前記収容部に形成され、
前記モールド成形体は、前記開口を覆っていない、

検出装置。

【請求項2】

前記収容部材は、前記リード線を保持する保持部を有し、

前記センサは、前記リード線が前記保持部に保持されることにより、前記センサ本体部が前記収容部の収容空間内に支持された、

請求項1に記載の検出装置。

【請求項3】

前記センサ本体は、前記収容部材に接すことなく支持されている

請求項2に記載の検出装置。

【請求項4】

検出素子を含むセンサ本体部、及び前記センサ本体部から引き出された複数のリード線を有するセンサのうち、少なくとも前記センサ本体部を収容部材の収容部に収容する第1工程と、

前記センサ本体部に溶融樹脂を接触させることなく前記収容部材の少なくとも一部を含んでモールド樹脂を成形する第2工程とを有し、

前記収容部材の前記収容部に、前記センサ本体部を外部に臨ませる開口を形成し、

前記開口を覆うことなく前記モールド樹脂を成形する、

検出装置の製造方法。

【請求項5】

前記収容部材に、前記リード線を保持する保持部を形成し、

前記リード線を前記保持部に保持することにより、前記センサ本体部を前記収容部の收

容空間内に支持した、
請求項4に記載の検出装置の製造方法。